

# 金多豆蔵人形劇場 本格始動



9月5日(土)、「金多豆蔵人形劇場」の定期公演がいよいよスタート。午前の部は10時30分からでしたが、予定の50席をチケット販売開始後15分ほどで完売し、急ぎよ午前中に追加公演を行う人気ぶりでした。

劇場前では「金多豆蔵応援隊」による直売コーナーも設けられ、開演前の観客で黒山の人だかりができていました。

劇場内での本番はというと、これもまた大盛況。金多と豆蔵の絶妙なかけ合いに、劇場の笑いが外に漏れるほどでした。

8月30日(日)、小泊のマリンパーク内特設コースで、町民・児童のグラウンド・ゴルフ大会が約50人の参加者を集め開かれました。

6グループに分けられましたが、中里・小泊両地域の住民が混じって編成され、お互いに交流しながらのラウンドで、海風を受けながら、楽しくプレーしているのが印象的でした。

随所にホールインワンもあり、スパープレーを達成した女性は「ずっとやっていたので不安だったが、来てよかった。」と喜んでいました。

## 将来の自分のために 中里高等学校 インターンシップ

将来の職業選択のために、仕事はどういうものかを体験して役立てようという中里高校の「インターンシップ」が行われ、町では図書館・博物館で生徒6人を受け入れました。9月1日(火)～3日(木)にかけて行われ、1日目は図書館業務、2・3日目は博物館の仕事を体験しました。写真を見てのとおり、皆さん真剣に仕事をしている雰囲気伝わってきます。

「1つ1つに時間をかけているのが分かり、大変だった。」「仕事の大変さが分かった。」「土器洗いが楽しかった。」などの感想がありましたが、この大変さが将来に役立つはず。悔いのない高校生活を送って、立派な社会人になってください。



## 平成21年度 敬老会

# 長寿の祝い 一同に

9月18日(金)、町の敬老会が体育センターで行われ、約600人の参加した高齢者の皆さんとともに長寿と健康をお祝いしました。

式では、まず町長があいさつし、年々高齢者が増えてきている長寿社会に喜びを述べ、米寿(88歳)の長寿者、ダイヤモンド婚(結婚60年)、金婚(結婚50年)の顕彰を行いました。



受賞者を代表して佐野修さん(田茂木地区)がお礼の言葉を述べ、式はとどこおりなく終了。ここで昼食となり、地区のみんなや気の合う仲間たちと一緒に談笑しながら、楽しく過ごしていました。

昼食が終わるといよいよお待ちかねの「芸能発表会」。秋元正美さん(豊島地区)の巧みな司

## 海を眺めながら ナイスショット

### グラウンド・ゴルフ大会



会で、オープニングにはスコップ三味線を披露し、そのほか唄や踊りの披露と続きました。

会場には、出演者に対する歓声と拍手をして笑いがこぼまっていました。参加された皆さん、いつまでもお元気で過ごしてください。

## 長年の功績認められ 故小寺一吉氏が受章

8月31日(月)に町長室で、故小寺一吉氏に対する叙勲の伝達式が行われました。

小寺氏は、旧中里町で町議会議員を昭和47年から平成12年まで務めました。その功績が認められ、平成21年7月15日付けで「旭日单光章」を受章しました。

また小寺氏は、平成12年から町村合併する平成17年まで町教育長も務め、教育行政の発展にも貢献しました。

# 自分の足で体験 海と山がおりなす絶景



絶景を見ながら歩いて山を下る「竜泊ラインウォーク」が、9月13日(日)に約20人の参加者を集めて行われました。

朝から雨が降りしきるあいにくの天候でしたが、ウォークの

時間になると雨が上がり、参加者も喜んでいました。

開会式のあと参加者はバスで鳥瞰台まで移動し、道の駅ことまりに向けてウォークを開始。鳥瞰台付近は、この時期にしては珍しい霧に包まれ、竜飛崎などを見渡すことはできませんでしたが、それもまた記念といった感じで、元気に歩き始めました。

1kmほど歩くと霧も晴れ、さわやかな秋晴れの天候となり、参加者の足取りも軽くなります。それぞれが自分のペースで思い思いに歩き、壮大な景色を楽しんでいました。



十和田から参加した男性は、「3回目の参加。景色が最高で、やめられない。(疲れは)こんなもんでしよう。」とウォークを楽しんだようでした。

## 重労働本当にお疲れ様でした

9月12日(土)、大沢内名水湧つぼ保存会の主催で、大沢内湧きつぼの改装が行われました。

当日は、東北農政局津軽農業水利事務所や小田川農業水利事業建設所、建設会社などから総勢約80人が集まり、湧きつぼに続く階段の整備をボランティアで行いました。

行われた作業は、約1立方メートルの生コンクリートを、200袋に小分けにし、それを手作業で運ぶ大変な作業です。しかも1袋は10キロ近い重さ！腕と足にだんだん疲れが見え、途中休憩を挟まないといけないほどハードな作業でしたが、なんとか運びきり、きれいな階段が整備されました。

作業後はみんなで集まり、湧きつぼの清水をそれぞれ飲んでいました。重労働だったこともあり、格別のおいしさです。最後に町長



から、ボランティアで作業を行ってくれた建設会社などに対して感謝状が贈られ、おにぎりとお豚汁でお互いの労をねぎらいました。

## 町の水管理を楽しく学習

薄市小学校の5年生17人が、「水と大地の探検隊」という社会科見学の授業を行いました。

9月9日(水)に行われたこの授業は、<sup>みどり</sup>水土里ネット十三湖(十三湖土地改良区)と西北地域県民局が説明と案内を行い、水田の水がどこから来てどのように流れていくのかなど、水土里ネットの行っているかんがい排水機能を学ぶものです。

一行はまず、芦野頭首工へ到着。頭首工の役割を学び、アユやサケが登る魚道などを見学しました。水土里ネット職員の江良さんが、「鶴田の球場から年間100球の野球ボールが流れてくる。」という話に、児童たちはこんな所まで流れてくるのかと驚きの表情で聞いていました。

芦野地区の水田では、田んぼの水管理のために用水・排水がいかに大切なかを学び、その後若宮ポンプ場を見学しました。若宮ポンプ場では、ポンプの制御盤や実際のポンプを見学し、生活や災害に重要な役割を果たしている機能を学ん



だ後は、魚とのふれあいを体験しました。ここが一番おもしろかったらしく、児童たちは大はしゃぎ。中には水槽に両足をつっこんで魚をさわる子もいました。

## 人権の大切さを学ぶ

9月17日(木)、小泊小学校で人権擁護委員と行政相談員による「人権教室」が行われました。

3年生27人を対象にした教室は、人権擁護委員の竹谷利男さんと行政相談委員の藪田由比子さんが講師となり開催しました。最初に藪田さんが、町の困ったことを解決するという行政相談員の役割を説明し、その後は竹谷さんにバトンタッチ。後半は竹谷さんが紙芝居「かさじぞう」



を朗読し、子どもたちに感想を聞きながら人権について考える教室でした。

## あの戦争を、忘れまい 中泊町戦没者追悼式

中央公民館横の慰霊碑前で9月3日(休)、町の戦没者追悼式が行われ、先の大戦でなくなった方たちを追悼しました。来賓約40人、遺族会員約100人を集めて開かれた式では、犠牲者に黙祷を捧げた後、遺族会主催による慰霊祭を執り行いました。

続く式典では町長が、「尊い犠牲のもと、日本は今日の経済発展を手にした。あの戦争は二度と起こさないと誓うとともに、町の繁栄を温かく見守ってください。」と述べ、県知事・県遺族連合会長・中里遺族会長が、平和の大切さや、犠牲となった人々、戦争の恐ろしさを忘



れずに伝えてほしいと、追悼の辞を述べました。戦後64年を迎え、戦争の記憶が薄れつつある中、一同は不戦と平和への誓いを新たにしています。

## 少年少女力士の取り組みに歓声

### 第5回青森県、北海道小中学校相撲中泊大会



中里中学校前の町相撲場で9月6日(日)、「第5回青

森県、北海道小中学校相撲中泊大会」が行われました。町相撲協会主催で開かれた大会は、145人の参加者を集め、県内からの参加のほか、町相撲協会と交流のある北海道福島町からも参加がありました。観客は、ちびっこ力士の対戦や中学生の迫力ある対戦に歓声を上げていました。地元中泊道場の主な結果は次のとおりです。

小学校1年の部	第3位 成田 力道	小学校3年の部	第2位 石岡 樹衣揮
小学校2年の部	優勝 成田 花道 第3位 神 歩武	小学校4年の部	第2位 石岡 弥輝也
		中学校1年の部	優勝 打越 奎也

### テニスの楽しさ存分に 第1回中泊町民 テニス大会

中里中学校のテニスコートを会場に、8月30日(日)「第1回中



泊町民ソフトテニス大会」が開催されました。

この大会は、参加選手との交流と、ソフトテニスの楽しさを町民の方へ広めるために、町体育協会テニス部が主催して行ったものです。

晴天のもと、小学生から一般まで約40人の参加者がプレーしましたが、一生懸命プレーする姿もあれば、和

気あいあいの雰囲気の中楽しんでいるプレーヤーもあり、初めての大会とはいえ盛会だったようです。結果は次のとおりでした。

<b>A級決勝</b>	佐藤・長利(五商高・一般) 3-0
<b>B級決勝</b>	小野永・田中礼(一般)
<b>C級決勝</b>	赤堀・田中亜(五商高) 3-0 秋元・中村綾(中里中)
<b>D級決勝</b>	田中大岩田大(中泊J) 3-0 中村武・中村亘(中泊J・五所J)
<b>E級決勝</b>	古川紗葛西萌(中泊J) 3-1 中村則・木村(一般)
	木村真・中村唯(中泊J) 3-0 岩田菜・福土(中泊J)

### 水の事故防止に一役

## B&G海洋センターで 「水辺の安全教育」

8月31日(月)、薄市小学校4~6年生がB & G海洋センターで水辺の安全教育を体験しました。

最初に、教育委員会社会教育課の古川(B & Gアクアインストラクター)が、「川や海の水辺で遊ぶことは楽しいですが、危険なこともたくさんあります。」と説明。紙芝居で勉強をし、服を着たままプールに入水しました。

児童たちは、背浮きの練習や、ペットボトルを使って救助する方法を習い、またライフジャケットの安全性を確認していました。実際に服を着ての入水には「服が水を吸って重い!」「動きにくい!」など感想を述べていました。



### 〈お詫びと訂正〉

広報9月号で以下の誤りがありました。  
●11ページ…中里中学校が準優勝とお伝えしましたが、優勝の誤りでした  
●12ページ…「日本オリンピック協会」→「日本オリンピック委員会」でした  
申し訳ありませんでした。お詫びして訂正させていただきます。